

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県 佐用町

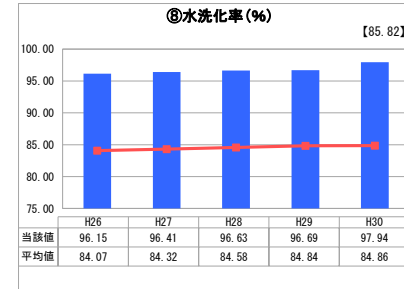
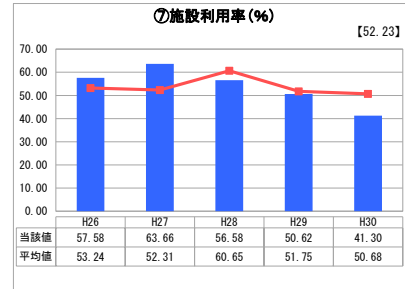
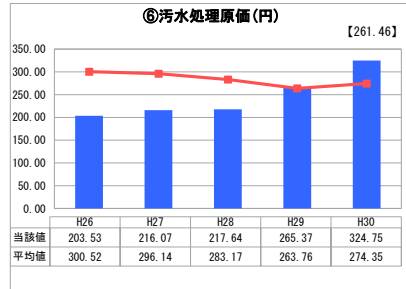
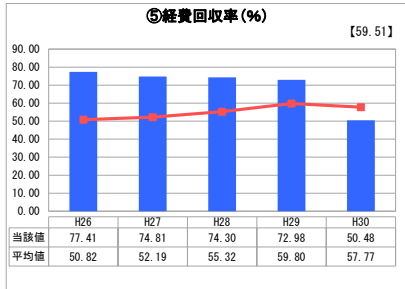
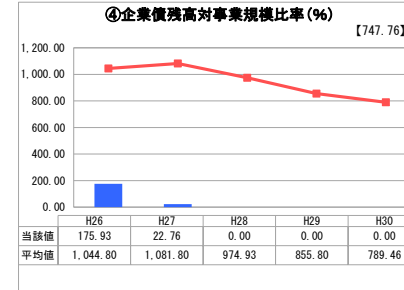
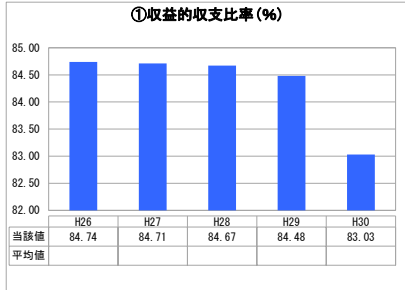
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	9.22	100.00	4,013

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
16,973	307.44	55.21
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,554	0.66	2,354.55

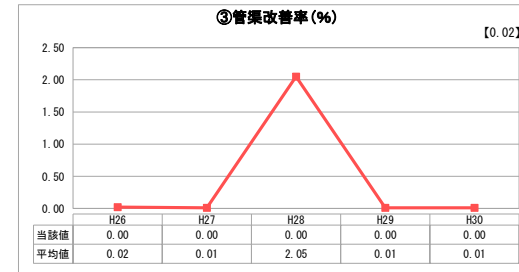
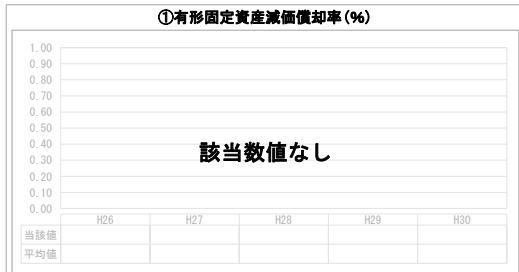
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は一部特環への事業統合の影響で減少している。維持管理経費の節減等改善が必要である。
 ②企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較しても低い数値ではあるが、公共下水への統合など投資規模の適正化を図っていく。
 ③経費回収率は類似団体よりも低くなっており、公共下水への一部統合の影響によるもので一般会計からの繰入に依存している現状である。
 ④汚水処理原価は増加し、⑦施設利用率は減少している。公共下水への一部統合と人口減少により汚水処理コストの増加となっている。
 ⑤水洗化率は高い水準であり、今後も引き続き水洗化推進を図る。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は更新投資に数値無であるが、事業統合及び長寿命化計画により必要な管渠の更新を実施中である。

全体総括

山間地という不利な立地条件のため、住居が点在しており維持管理に係るコストが、都市部など人口密度が高い地域に比べ割高になるのが避けられない状況であり、一般会計からの補填により事業を維持せざるをえない。
 人口減少による料金収入の減少、老朽化による更新の必要性から一部区域を特環下水に統合し、効率的な施設の維持管理の取り組みを開始し、長寿命化を計画的に実施する。
 今後も経営戦略に基づき、長期的な視野のもとで効率的な経営に取り組み、経営改善に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。